

平成 27 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校

校長 田 中 宏

評 価 日	平成 28 年 1 月 23 日 (土)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ① 確かな学力の育成 [学習成果発表会について (参観後)] ・ 1 年生は自分をしっかり見つめてキャリアプランを立て、2 年生は身近な話題などを取り上げて、問い、仮設、検証の手法で研究し、3 年生は米子市商店街の活性化のためのアイデアを若者と高齢者の観点から練り上げていたが、本当にどれも素晴らしいものだった。見に来た中学生にも刺激になったことと思う。来年は地方創世アイデアコンテストで是非予選を通過して欲しい。 [授業改革について] ・ 「学びの文化祭 in Yonago」を開催し、アクティブ・ラーニングへの取組も拡充されてきた。大学進学者の多くが推薦入試なので、今後は学力試験での合格者が出せるようにさらに取り組んでいって欲しい。 ② 豊かな人間性の育成 [遅刻者数削減について] ・ 12 月現在の昨年比で 3 分の 2 に減少している。企業の観点では劇的な改善と言える。教員の努力の結果だと評する。 ③ 自己実現のための進路指導の充実 [進路指導の充実について] ・ 今年度も国公立四大・短大、私立難関大学など実績が出ており、驚くべき結果と言える。受験の方法からも教員の指導時間がかなり必要だったと推測できる。大学進学者数が専門学校を上回り逆転していることなど、米子高校で多様な進路実現が出来ることが実証されている。 ④ 地域との連携による学校づくり [教育活動の発信について] ・ 地下道壁画や公民館の紙芝居の作画など地域へは様々な取組で貢献している。さらに進路の実績も以前から格段に変化しており、地域の持つ学校のイメージが変わってきているのを改めて感じる。 (2) 説明・公表について [保護者アンケートについて] ・ 頭髪などの生活指導やアルバイトの許可など、保護者があまりわかっていない点があるようなので、周知してもらいたい。		産社のキャリアプランニング、総学のプレテーマ学習、米米プロジェクトとテーマ学習は本校のキャリア教育の柱であり、それをベースに全体計画も策定した。今後もさらに改善し、成熟させたい。 学力向上のカギは授業改革にある。ジグソー法にこだわらず、生徒がほめられる授業を焦点に授業改革に取り組んでいく。 指導部の熱心な指導のもと、クラスコンペを導入して効果があった。 担当の教員らが時間を惜しまず、熱心に指導に当たった賜物であり、見違えるように立派になったと中学校からも評価してもらっている。 中学校への面接の出前授業などいろいろなマスコミにも取り上げられていて、評価を頂いている。 生活指導等は適切に行っているつもりであるが、理解には努めたい。

評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について [確かな学力育成プログラム] ・ 幼児と高齢者の交流、現在開催している総合美術展など多様な取組が実現されていて評価できる。 [自己実現進路指導プログラム] ・ 進路講演会、進路指導研修など有効に活用されて、実際の進路指導に役立て、大学・短大進学など、着実に成果が現れている。 [地域との連携プログラム] ・ ダンス部の全国大会出場もあり、ハイホットダンスなどは地域への発信や貢献の点で素晴らしい取り組みである。 3. 取組改善のための提言 [保護者アンケートについて] ・ 掃除の徹底という点で、一度徹底的にきれいにして、汚させない指導など改善できることもある。	総合学科として、特色ある取り組みに運用出来ている。 組織的な指導体制が出来つつある。 ホールが一杯になるくらい地域の行事として根付いている。 掃除については週3回の掃除を増やせないか検討中である。